

平成 26 年度第 1 回長野市歴史的風致維持向上協議会 会議記録（概要）

日時 平成26年 8 月 8 日（金）

午前10時～午前11時30分

場所 第一庁舎 8 階 第二委員会室

出席委員 12名

赤羽委員、牛山委員、北村委員、小林委員、梅干野委員、若麻績委員、中島委員、中村委員、極意委員、小野委員（代理出席）、根津委員、藤沢委員
（3名欠席 笹澤委員、宮下委員、唐澤委員）

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

根津都市整備部長

3 委員の委嘱及び委員紹介

4 会長及び職務代理者選出

会長に北村委員、職務代理に笹澤委員を選出

5 会長・職務代理者挨拶

北村会長

6 協議事項

(1) 平成26年度の歴史的風致維持向上計画事業について

・説 明	事務局：資料 1 と添付資料No. 1～12 により平成 26 年度の計画事業を説明
・質 問	「善光寺周辺地域道路美装化事業」と「善光寺周辺地域電線類地中化事業」に関して、「善光寺周辺地域まちづくり協議会」の総会で「西院通り」は、正式名称の「阿闍梨池（あじゃりがいけ）通り」に変更することとした。今後は正式名称で統一していただきたい。
・回 答	承知した。
・質 問	歴史的風致の維持向上は、建造物等のハード整備が主要事業ではなく、歴史的建造物の利用や活用をすることが主要事業。弥栄神社の御祭礼は、3年前から毎年実施されることになったが、地元には大変な負担である。地元に対し、祭礼の意義を浸透させることが重要。
・回 答	ハード整備だけではなく、ソフトの部分で、人口減少や高齢化等により、地域の活動が困難な状況を解消するため、支援していくことがこの計画の柱である。利用と活用という視点で計画を実施していく。

・質 問	歴史的風致維持向上計画を市民に啓蒙する機会が必要。計画が市民全体で共有されていない。現在の歴史的資源活用コーディネーター派遣事業は専門的すぎて、単発で完結している。
・回 答	本計画は昨年4月に国の認定を受けたばかりで、市民に対するPR不足は感じている。今後、講演会、シンポジウム等考えていきたい。
・質 問	長野市で歴史的風致維持向上計画を実施しているということ、ホームページに掲載しているのか。
・回 答	本計画について、まちづくり推進課のホームページに掲載している。広報ながの5月1日号にも掲載した。文化財課のホームページには、指定文化財について掲載しているが、歴史まちづくり事業の進捗については、掲載してないため、その点を工夫し公開していきたい。

(2) その他

・その他	松代地区は、本計画事業に数多く取り上げていただきありがたい。地域住民が主体的に理解し、活動する意識喚起を図るため、振興計画を策定し、徐々に住民の理解が広がっている。今後、地元住民が積極的に歴史まちづくりの地域向上に取り組むように、努力していく。
・その他	鬼無里地区では、今年の祭礼の様子を、ビデオに記録している。物を残す方法と、活用する方法両面を記録する。また、松巖寺観音堂は、文化財課の支援を受け、現在屋根の修理を実施中。建築当時の茅葺の遺構を保存する等、数十年後の文化財のレベルアップを見据え工夫している。
・その他	善光寺周辺地域では、平成4年発足の「善光寺まちづくり会議」と、平成13年発足の「善光寺周辺地域まちづくり協議会」の2つの協議会があり、様々な活動をしている。現在、善光寺周辺地域の道路美装化と電線類地中化を実施中。次期御開帳までに仁王門通りが完成し、それ以降、順次完成していく予定。
・その他	戸隠地区は、7月末から8月初めにかけてまちづくりアンケートを実施し、現在、文化財課で取りまとめをしているが、街なみ環境整備事業や伝統的建造物群保存地区制度について、地元の理解に温度差があると感じる。住民意識の統一に向け努力したい。 昨年実施した茅刈り作業は、今年も11月初めに実施する予定。景観重要建造物2件と歴史的風致形成建造物2件の修理のうち、1件は工事に着手した。残り3件も今年中に工事を始める予定。

7 その他

今後の予定について

関東歴史まちづくりサミットへの出席について

・歴史まちづくり法が施行され5年が経過したことを記念し、国土交通省関東地方整備局主催で、「関東歴史まちづくりサミット」が平成26年10月15日（水）に群

馬県甘楽郡甘楽町で開催される。

- ・長野市を含めた9市町の長が出席する。
- ・事務局でマイクロバスを手配するので、委員の皆様の出席をお願いしたい。

今後の予定について

- ・次回の協議会は、今年度の本計画の進捗状況等を報告させていただくため、平成27年2月下旬頃の開催を予定している。

8 閉 会

文化財課 青木課長